

大和文華館特別展「蘇州の見る夢—明・清時代の都市と絵画—」

開催記念国際シンポジウム

蘇州をめぐる諸問題—中国と日本の観点から—

2015年10月31日(土)・11月1日(日)

10:00～18:00 大和文華館 講堂

大和文華館は今年、特別展「蘇州の見る夢—明・清時代の都市と絵画—」を開催いたします。本展では、蘇州という都市の盛衰を切り口に、複雑で豊穡な展開を見せる明・清時代の中国絵画史を通観します。これに伴い、国際シンポジウムを企画いたしました。蘇州画壇について、中国絵画史と日本絵画史双方の研究成果を発表し合い、意見交換をする有意義な場にしたいと考えております。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

[定員] 50名 ※事前申込制、多数の場合は抽選を行います。

[参加費] 2000円(2日間)、1000円(1日間)

※当日シンポジウム受付にてお支払をお願いします。

※参加者はシンポジウム期間中、本特別展をご自由にご覧いただけます。

[申込方法]

下記のシンポジウム事務局宛に、FAXもしくはメールにて、①名前(要ふりがな)、②郵便番号・住所、③電話番号、④FAX番号、⑤メールアドレス、⑥参加日(両日・31日のみ・1日のみ)、⑦領収証宛名をお知らせください。※個人情報は本シンポジウム運営のみに使用させていただきます。

[申込期間] 9月7日(月)～9月27日(日)

[申込・問い合わせ先]

〒631-0034奈良市学園南1-11-6大和文華館内 シンポジウム事務局

FAX: 0742-49-2929 E-mail: yamatobunka.sympo-i@hotmail.com

[主催] 公益財団法人 大和文華館

[助成] 公益財団法人 花王 芸術・科学財団



[協力] 関西中国書画コレクション研究会

「特別展 蘇州の見る夢—明・清時代の都市と絵画—」

会期 2015年10月10日(土)～11月15日(日)※前期:10月10日-11月1日/後期:11月3日-11月15日

休館日 毎週月曜日(ただし、10月12日<祝>は開館し、翌13日<火>が休館)

開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時まで)

入館料 一般:930円、高校・大学生:720円、小学・中学生:無料

— プログラム —

10月31日(土)

10: 00～10: 05 開会の辞

10: 05～11: 20 基調講演

- ・蘇州文人繪畫的成立、推展與挑戰(蘇州文人繪畫の成立、進展と挑戦)☆

石 守謙(中央研究院院士)

11: 30～12: 55 Session1: 吳派文人画の成立と継承

- ・沈周と文徵明の師弟關係について—王蒙受容の観点から—

都甲 さやか(九州大学助教)

- ・關於吳門畫家若干作品與作者之考鑒(吳門画家の作品と作者に対する若干の検討)☆

凌 利中(上海博物館研究館員)

12: 55～15: 00 休憩

15: 00～17: 15 Session2: 仇英と繪画市場の発展

- ・圖與文:明代敘事畫在蘇州(イメージとテキスト—蘇州の故事図)☆

林 麗江(国立台湾師範大学教授)

- ・趙浙「清明上河図」をめぐる

板倉 聖哲(東京大学教授)

- ・清代初中期蘇州版畫的商業面向(清代初中期における蘇州版画の商業化傾向)☆

王 正華(中央研究院副研究員)

17: 30～18: 00 総合討論

11月1日(日)

10: 00～12: 00 Session3: 蘇州繪画活動の波及

- ・董其昌と蘇州画壇の關係について

植松 瑞希(大和文華館学芸員)

- ・明代蘇州繪畫與文人的僧寺遊(明代蘇州繪画にみる文人の「寺遊」—僧との交流、寺院への旅—)☆

傅 立萃(香港科技大学副教授)

- ・丁雲鵬・盛茂燁合筆「五百羅漢図」について

西上 実(京都国立博物館名誉館員)

12: 00～13: 30 休憩

13: 30～14: 10 特別講演

- ・元時代蘇州繪画の二側面—文人画と職業画—

海老根 聰郎(東京藝術大学名誉教授)

14: 15～15: 25 Session4: 蘇州をめぐる日中交流

- ・明代蘇州の園林文化とその伝播—吳派「別墅図」から見た「大名庭園」—

宮崎 法子(実践女子大学教授)

- ・明末蘇州派と18世紀京都画壇

佐藤 康宏(東京大学教授)

15: 35～17: 20 Session5: 日本の繪師たちが見た蘇州

- ・江戸時代にもたらされた仇英画について

杉本 欣久(黒川古文化研究所研究員)

- ・田能村竹田作品における吳派花卉図の影響

宮崎 もも(大和文華館学芸員)

- ・日本近世繪画にみる中国經由の洋風表現について

橋本 寛子(日本学術振興会特別研究員)

17: 30～18: 00 総合討論

18: 00～18: 05 閉会の辞

☆: 中国語発表 ※逐次通訳が付きます。